

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	頸椎症性筋萎縮症（CSA）の臨床的筋電図学特徴に関する後ろ向き研究		
1. 研究の目的と方法	頸椎症は多くの場合、頸部背部痛や手のしびれ、あるいは脊髄圧迫による歩行障害などを主な症状として呈しますが、それらを欠いて、上肢の筋萎縮や筋力低下のみを呈する症例があり、頸椎症性筋萎縮症（以下 CSA）と呼ばれています。CSA は、筋萎縮性側索硬化症（ALS）、神経痛性筋萎縮症（NA）などの他疾患と紛らわしい場合があります、確実な診断が必要です。CSA は日本での報告が圧倒的に多いですが、針筋電図所見やその診断的意義はあまり検討されていません。本研究では欧米ではあまり知られていない CSA の臨床像を明らかにし、正確な診断に貢献することを目的とします。 本研究では、2017 年以降に帝京大学医学部神経内科及び共同研究機関（東京慈恵会医科大学附属病院を含む）を受診し、臨床経過と神経診察、電気生理学的検査で CSA と確定した患者さんについて、種々の臨床特徴と、針筋電図所見・画像所見を検討し、集計します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2017 年 1 月から 2024 年 1 月までの間に附属病院で筋電図検査を受けた患者さんで、頸椎症性脊髄症と診断された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、症状、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、筋電図検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療および検査のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科
		氏名	井口 保之
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科 松野博優	
	(4) 共同で研究 を実施する	<研究代表機関> 帝京大学医学部脳神経内科学講座 准教授 畑中裕己（機関の	

	施設とその責任者	長：川村雅文) <共同研究機関> 横浜労災病院 脳神経内科 部長 今福一郎 (機関の長 三上容司) 亀田総合病院 脳神経内科 顧問 福武敏夫 (機関の長 亀田俊明)
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料・情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された研究代表者のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送 試料・情報の利用または提供予定開始日：倫理委員会承認日 (2020 年 9 月) ~	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科 研究責任者：教授 井口 保之 (いぐち やすゆき) 窓口担当者：助教 松野 博優 (まつの ひろまさ) 電話番号：03-3433-1111 (内線 3282) 対応時間：平日 10:00 ~ 16:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。